

## 2017年 カラマズー会 第3回理事会 議事録

日時・場所： 11/13【月】 18:30～21:20 銀座 「Totide」

出席理事： 阿部、大嶋、熊谷、高村、千谷、松井、山口（敬称略）

委任状提出理事：大山（敬称略）

出席名誉理事： 北川（敬称略）

ゲスト： Dr. Jane Blyth, Ms. Yumi Takahashi-Ede

理事12名うち8名の出席および委任により、理事会が成立した。

### 1) Soga Japan Center を取り巻く環境（WMUからの情報共有）

1. SJC 年間経費（\$ 60,000）は、WMU 基金（本会からの寄付も含まれる）の運用益が 1/4 をカバーしており、残りは HIGE 予算で支援
2. CELCIS に通う生徒数が減少、HIGE の財政状況が厳しくなり人員整理が行われている。SJC が活動資金を自己調達できなければアウトリーチのポジションに影響する可能性がある
3. 新学長の訪日は単なる表敬訪問ではなく、実質的な共同プロジェクトの立ち上げ等にかかわれるのが望ましい。来日は 2019 年以降の見込み

### 2) カラマズー会の支援スタンスについて

4. アウトリーチがなくなるということは SJC 自体の活動が休止してしまうことであり、これはご寄付者の意図していることではない。Coordinator のポジションの維持は SJC にとって重要である
5. SJC の活動報告はいただいているが、基金運用益の用途に関する年次報告がタイムリーになされていない
6. 今まで行ってきた形での Fundraising の継続は困難である。Grand Reunion における WMU ゲスト講師の講演や Cloud Funding の活用など、持続可能な fundraising システムを活用すべき
7. 外務省や文化庁に、海外の日本事業支援の枠組みがあると思われるので、それを利用して SJC の活動支援が出来ないものか検討する

次回理事会予定 2018年 1月 14日（日） 16:00-18:00

以上